

サステナブルシステム科学研究科 ヘルスケアシステム科学専攻（博士後期課程）カリキュラムマップ

アドミッション・ポリシー

地域に根ざしたヘルスケアの体系的構築や医療機器の開発をとおして、持続可能なコミュニティづくりに指導的役割ができる人材を養成することを目的としている。このような観点から、つぎのような能力・資質を備えた入学者を求める。

カリキュラム・ポリシー

本研究科では、生産システム科学・ヘルスケアシステム科学・グローカル文化化学の各専攻が共創し、地域およびグローバルな視点からの課題発見・解決への道筋を立て、さらに地域社会の持続的発展のためのシステム構築に指導的役割を果たし、また関連分野における学術研究推進にも資する人材を育成するための、体系的な教育課程を編成する。

研究科のアドミッション・ポリシー

○ 本学の修士課程が有する生産システム科学、ヘルスケアシステム科学、グローカル文化化学の各専攻およびこれに相当する高等教育機関において基礎的な知識と技能を学修し、各専攻の専門領域に関する実習を了えた者。

○ 地域と世界の持続可能性への高い志を有し、持続可能な社会実現のために、既存のアカデミズムの枠組みにとらわれず、活用可能なアイデアを現場と連携して創出することに強い興味と意欲を持つ者。他分野にも関心をもち、人類全体と身近な生活圏の持続可能性に係る課題を発見し、解決への道筋を示す意欲を有する人。

○ 個々の専門性を深めるなかで、国内外の研究者に対して共鳴力と協調性をもってコミュニケーションでき、生命の尊厳と人間性を重んじる倫理観をもって課題に向き合うことができ、課題解決への強い意志を有する。

専攻のアドミッション・ポリシー

○ 本学ヘルスケアシステム科学専攻が授与している修士の学位（保健学）を有する者及び、それと同程度の学力を有する人。

○ 持続可能なヘルスケアを体系的に構築するための発想力、共鳴力、積極性、実行力、協調性を備えた人。

○ 人々の健康と幸福に寄与するための高い志をもち、キャリアパスとして高度保健医療専門職業人・研究者、あるいは教育者としての未来像を明確に描いている人。

研究科のカリキュラム・ポリシー

CP－1
人類の持続的発展のための諸課題を明らかにし、それら課題の解決と社会実装に向けての能力を育成する。

CP－2
特定の学問領域を超えて、柔軟でかつ高度な専門知識の総合的運用能力を育成する。

CP－3
各専攻に固有な学問領域の高度専門能力の育成を図る。

CP－4
地域・国際社会で活躍できる資質を涵養する。

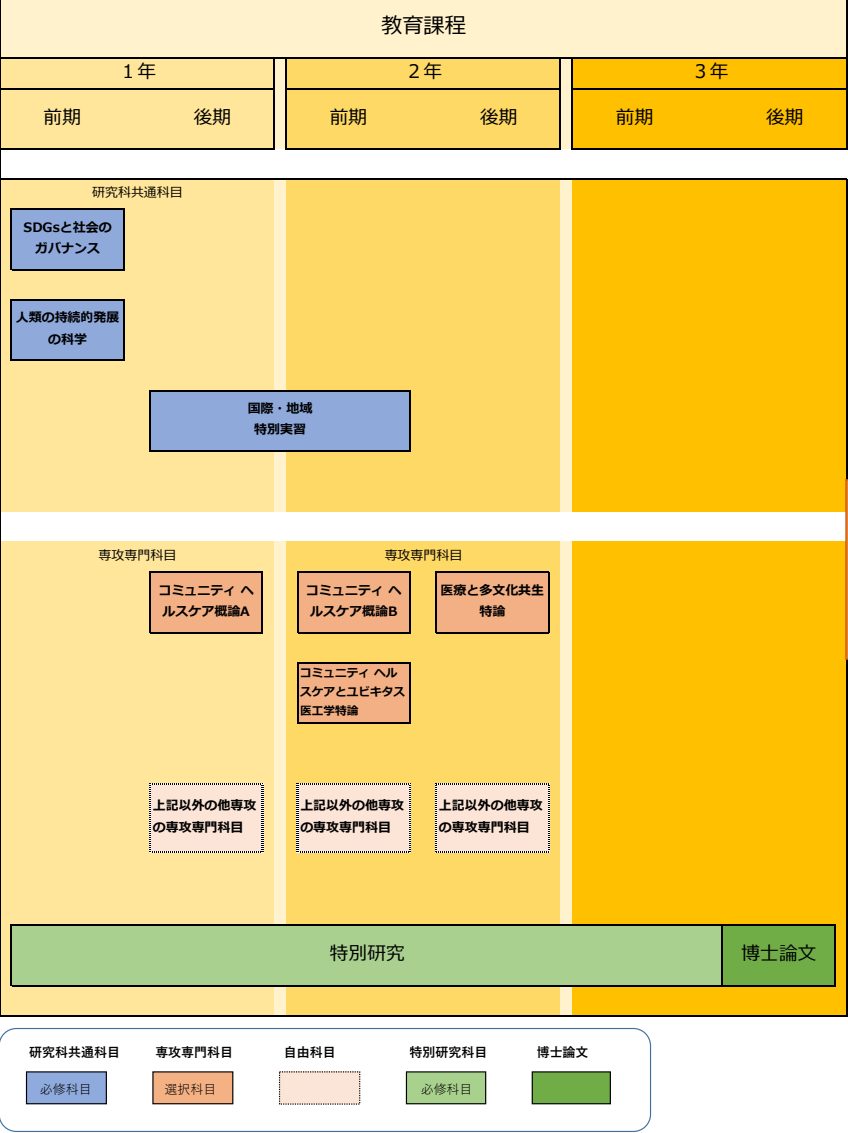
専攻のカリキュラム・ポリシー

CP－5
保健・医療・福祉の観点から、人類の持続的発展のための諸課題を明らかにし、それら課題の解決と社会実装に求められる看護学、保健学、基礎医学、人間工学、人間情報学といった専門分野に関連する能力を育成するための関連科目を編成する。

CP－6
持続可能な地域医療や医療のグローバル化を視点に新しい保健・医療・福祉のシステムの創出につながる地域的・地球的課題解決のための研究力を養い、固有な学問領域を超えて、柔軟でかつ高度専門知識の総合的運用能力を育成するための教科目を配置する。

CP－7
保健医療福祉科学に固有な学問領域の高度専門能力の涵養を図り、他分野の専門家と協働して課題解決にあたる能力と実践を備えた高度専門職業人や研究者を育成するための教科目を配置する。

CP－8
国際的な感覚で医療を考え地域医療で活躍できる資質を涵養するために、地域の医療や介護および医療のグローバル化に関する諸課題を発見し、解決に必要な能力と技術を構築し、その成果を南加賀および北陸の地域医療と介護連携体制の確保に役立てる力を修得するための教科目を配置する。



学 位

持続的な社会を実現するために、持続的に発展できる地域の健康と福祉の構築に資する学識、およびその構築のための課題解決能力を身に付けたと評価され、ヘルスケアの特定の課題に関する研究成果をまとめた博士論文が審査に合格した学生に博士（保健学）の学位を授与する。

養成する人材像

研究科のディプロマ・ポリシー

DP－1
高度専門能力に立脚した「総合知」を備えて、地域と世界の抱える様々な問題に学際的アプローチができ、持続可能な社会実現のため、組織の指導者として活躍できる能力を有すること。

DP－2
ものづくり、保健医療、グローカル文化化学の各専攻の専門領域で、自立した研究者および教育者として、その分野の学問の深化と発展に貢献できる能力を有すること。

研究科において育成をめざす人材像

「課題発見解決能力、社会実装力を備えた次世代人材」、「地域産業の高度化、地域発イノベーション等を担う高度人材」、「未来を支える教育者、研究者、組織指導者」、「『総合知』に立脚し、高度な専門能力を備えた人材」などの人材を育成し、「地域・国際社会へのサステイナビリティへの貢献」をめざす。

専攻のディプロマ・ポリシー

DP－3
超高齢社会や人口減少の進行に伴う地域医療や介護の課題または医療のグローバル化のために解決すべき課題などのヘルスケアの諸課題を発見し、高度専門能力に立脚した「総合知」を備えて、地域と世界の抱える様々な問題に学際的アプローチができ、持続可能な社会実現のため、組織の指導者として活躍できる能力を有すること。

DP－4
保健・医療・福祉の観点から、看護学、保健学、基礎医学、人間工学、人間情報学といった専門分野において、それらの先端的な理論と知識を駆使し、持続可能な社会の実現に向けて、自専攻を超えた学びを行い、他分野とも協働していく幅広い探求心と柔軟性を備え、自立した研究者および教育者として、その分野の学問の深化と発展に貢献できる能力を有すること。

専攻において育成をめざす人材像

持続的に発展できるコミュニティヘルスケアを構築するために、健康と福祉に関する知識や研究能力を活用しかつ他分野の専門家とも積極的に協働していくことで、コミュニティヘルスケアに関する現存の課題の解決策を提案していける高度専門職業人、研究者、および大学教員の育成をめざす。